

平成30年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報ちよだ 11月号」

評価された点

【表紙】

●特集と関連した表紙は子どもの表情を良く捉えており、思わず微笑んでしまう写真。

【特集】

●米の特集は意表を突かれた。明治の大洪水で土壌がよくなり、おいしい米が作れるようになったという話は初耳だった。総論から入り、生産者を取り上げ、学校給食や飲食店を紹介し、管理栄養士や教諭のコメントで結ぶという一連の流れも読みやすく、分かりやすい工夫と評価できる。山梨県の精米業者まで取材したのは丁寧でいい。

●町産米の記事は読み応えがあり、特集に値するボリューム、内容だった。町外にまで取材し、記事化している点も評価できる。見開きページを使った田園地帯の写真も目を引く扱いでよいと思う。

●今号で米を特集して多くの紙面を割いている。その思い切った意欲的な取り組みは評価。

●写真もお見事。表紙の小学生のうれしい顔がすべてを語っている。生産者や子供たちの笑顔もいい。スポーツ大会の写真もいい表情だった。

●「ちよだのお米」特集がよい。町村の広報で、ここまで充実した特集ページを作れるところは少ないだろう。こういうテーマだと、とかく農業者目線になってしまい、一般住民の共感が得られなくなることがあるが、品種の説明や飲食店の声など、直接農業に関係なくても楽しく読める。10～11ページのレイアウトの大胆さもほめたい（ただし、プロのセンスだともうこういうデザインは特集の最初に持ってくるだろう）。

【その他】

●「紙類分類のお願い」は分かりやすい。同じようにお知らせの各コーナーもイラストや図解を多用し、見せる工夫がなされている。

●「まちの話題」は身近な人が登場して広報に親しみが持てる。「友だちのり」は若い人が登場するのだろうか。活字離れの世代を引き付ける、いい企画だと感じた。

●マラソン大会開催に伴う交通規制図も見やすくよかった。

●全体的に明るい紙面で、読んでみる気にさせる。

●さまざまな年齢の町民を登場させており、広報誌を身近なものにしている。

平成30年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報おうら 10月号」

評価された点

【特集】

- 特集を巻頭に持ってくる広報が多い中、中面に展開した。カラー面が紙面の最初と最後にしか使えないからだと推測するが、特集の性格から白黒の方がよく、逆に中学生や女子野球の企画はカラーの方がふさわしい。うまく考えた展開だと思う。
- 巻頭特集の災害対策は必要な情報でもあるし、過去の大災害の経験者取材するなど、読みやすさ、親しみやすさにも気を配っている。女子野球日本代表、邑楽中水泳部など地元のスター紹介のページのレイアウトもがんばった。
- 10ページからの防災に関する記事は、地味で一般受けしないが大切な話題。紙面を割いて正面からしっかり取り上げており、広報誌ならではの取り組みと評価したい。
- 特集の防災はレイアウトが巧みだった。モノカラーにしたのが成功の大きな要因。白抜き文字もセンスがいい。
- 女子野球の大野七海さんの企画は写真がよかった。邑楽中学校水泳部の軌跡も写真が生き生きした表情でとてもいい。若い人の活躍を町民に知ってもらうことで、元気のお裾分けができたのでは。
- 冒頭のスポーツ特集は、誰もがとっつきやすい身近な記事に仕上がっている。
- 多くの人が興味を持つ町のスポーツの話題2つを大きく取上げているのが良い。
- 邑楽中水泳部の軌跡は、写真をもっと大きく使った方がよかった。記事は苦勞して書いてもあまり読まれない。いい写真なのだから絵で見せたい。

【その他】

- 終盤にカラーで掲載したお年寄りの写真特集もよかった。老若男女そろって元気な町をアピールできたと思う。
- スポーツ、災害への備え、町財政など幅広いジャンルを網羅しており、盛りだくさんの内容。
- 米寿・金婚式のページを盛り込むなど、高齢世代向けの記事もあり、あらゆる世代を読者として想定していることがうかがえる。子どもから大人までを対象とするのは難しいことだが、バランスよくまとまっている。
- 巻末コラムの「FROM EDITORS」は気が利いており、行政と住民の距離を縮めるのに役立っているように思う。

平成30年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報しょうわ 10月号」

評価された点

【特集】

●特集「らくらく筋トレ10周年」は写真の使い方がよかった。扉で筋トレをしている住民の姿を1面いっぱい載せ、余白の部分に見出しと前文をかませた工夫がよかった。5面の中央に使った組み写真や6、7面の見開きに展開した地図と集合写真もセンスが光った。

●筋トレ特集は、健康情報に敏感な中高年層にマッチした企画でよかった。ただ、村内のサロン地図を掲載するのであれば、連絡先の一覧表がついていければなおよかった。表紙の写真は人目を引くと思う。

【その他】

●表紙の写真が生き生きしている（かといって演出臭くない）。内容はこれといったものはないのだが、「ニュースフラッシュ」のところなど詰め込みすぎではないので読みやすい。小規模自治体の広報のいいお手本だと思う。

●表紙を含め全体的に使っている写真のセンスが良い。また全体的にすっきりしていて読みやすい。文字量も適量。

●「村の家計簿」は図解を多用し、分かりやすい紙面だった。特に「村のお金の使い道 こんな事業を行いました」は写真入りで親切だった。決算は重要な要素なのに、予算に比べ注目度が低い。広報で知らしめるべきだと認識させられた。

●ニュースフラッシュで住民のコメントを載せたのは、記事に親しみが持てる。事実関係だけを掲載している広報が多い中、企画課の丁寧な取材は好感を持てる。

●多くの村民を紙面に登場させており、広報誌を身近なものにしている。